

令和５年度 政策討論会 第二分科会 第５回 要点記録

日時 令和５年１１月１７日(金)
場所 第２理事者控室
時間 １０時００分～１０時２５分
出席者 宇野 真悟 座長
桑原 佳一 副座長
河合 達雄
倉田 賢一郎
田中 市子
反甫 旭
西田 武史
松本 妙子

決定事項

- １ 岸和田市のあるべき姿、課題解決等について各自が持ち寄り討論
出席者の意見は別紙のとおり
- ２ 今後の討論会の予定
次回は１２月２２日(金)１０時～ 第１委員会室
次回は項目ごとにまとめた意見書の叩き台について討論する。

出席者の意見

- 1 主権者教育のさらなる充実、選挙のお知らせの充実、期日前投票所への移動支援、たとえば職員会館までのローズバス利用時の無償化などを検討する必要があると考える。
- 2 子ども議会の取り組みの充実と商業施設での期日前投票の拡充。新しく大学や高校での期日前投票所設置などを検討してはどうか。また病院の診察の待ち時間を利用しての期日前投票の実施も検討すべき。
- 3 本市のあるべき姿としては、市民により市政に関心を抱いてもらえる様に議会での市政報告や子どもたちに対する教育委員会の主権者教育の充実、そして投票に行きやすい環境づくりを選挙管理委員会がこれまで以上に行わなければならない。
- 4 主権者教育はもちろん大切だが、現状、半数以上の方が投票に行っていないわけでその点を考えた方がいい。その観点から子育て世代からすれば子連れでも遠慮なく行ってもかまわないと認識してもらう広報を行えば効果はあると思う。
- 5 子どもと一緒に投票所に行くことは子どものころから投票行動になじむという点でも有効。促進するチラシを学校で配布してもらうような取り組みをしてはどうか。主権者教育については、出前講座の一層の活用、子ども議会を準備しているが、青年層に対して議員との対話の場をもつなど選挙の時に限らない取り組みを。投票所までの移動困難者へはタクシー券の配布など検討してはどうか。
- 6 移動支援について、本市の市域、投票所の数を考えると、本市単独での実施は困難かと思う。民間のスーパー等と協力し、買い物の送迎と共に投票をしていただくような仕組みづくりをしてはどうか。病院等への期日前投票所の設置について、診察の待ち時間などでの投票など需要があると思うが、病院の本質は医療であり、感染症などの影響も考えて投票所の設置を検討すべきである。
- 7 主権者教育をしっかりと学校で教える。高校で道德等の時間を作ってもらいそれを利用して議員が学校に出向き選挙の話をし投票がいかに大事かを説明する。選挙が近づくと宣伝、広告、啓発活動が活発になるがもっと日頃から啓発活動を行う。
- 8 今後の岸和田の方向性について、主権者教育や投票所の工夫についてはこれまで様々な取り組みがなされている。主権者教育については学校による実

施状況の差が生じており改善の余地がある。すべての学校でより積極的に取り組んでいただきたい。投票所については、高齢化により投票に行くことが困難なケースがあると思われる。さらなる投票所の工夫が求められる。期日前投票所についてどこに設置するのが良いかという議論になったが、これについては特に根拠のないまま議論するのではなく、例えば専門家の分析等が必要なのではないかと思う。いずれにしても2つのケースは既存の取り組みに過ぎず、投票率向上に対してどの程度の効果が期待できるかわからない。むしろ、これまで取り組んでいないような新たな取り組みを提案することが政策討論会の提言として相応しいのではないか。